

● 企業小説

ヒトの品質向上物語

～今こそ、^{じんしつ}人質マネジメントシステムを構築せよ～

株式会社実践クオリティシステムズ 代表取締役 左近祥夫

◆ 職場は自由闊達であれ

社会生産性本部の調査（2007年4月実施。対象は全国1,874自治体）によると、「この3年間で（職員）の心の病が増加した」と応えた自治体は47.7%に達したと言う。同種の調査で民間企業においても、特に大企業でのメンタルヘルス問題が深刻化する傾向にある。確実なアウトプットを約束するはずの「システム」に関する業務が多く発生し、社員はあたかも「システム」のために働くようになり、職場に自由闊達さ、創造性、野性味がなくなりつつある。

どうしたら良いのか。基本に戻ろう。基本は「人」である。「人」が自由闊達さ、創造性を発揮し、高い能力を発揮するか否かは人の「質」にかかっている。この「人の品質を高める」システムを勧めるために、一編の物語をお届けしたい。

■ 左近 祥夫（さこんまさお）

1948年、福井県生まれ。北海道大学工学部卒業。製造業に就職し品質管理に携わる。上司から「品質は人質だ」と教え諭され、人を育み、人に悩み、人を研究した。1991年、コンサルタント会社に転職。1993年、独立、コンサルタント仲間とともに(株)実践クオリティシステムズ設立、代表。現在に至る。社員・従業員の活力を引き出すことによって、製造業、飲食店の売上高、生産性の向上を図る。

<http://www.jqs.jp/>

構 成

1 課題

- 1.1 閉塞感
- 1.2 企業
- 1.3 届出の遅れ
 - 1.3.1 問題の糸口
 - 1.3.2 問題は「人」
 - 1.3.3 矯正の是非

2 人質

- 2.1 意味
 - 2.1.1 違い
 - 2.1.2 性質、性格、品格
- 2.2 評価
- 2.3 本人のメリット
- 2.4 運営
 - 2.4.1 選択
 - 2.4.2 実施方法
 - 2.4.3 報償の要否
- 2.5 効果
 - 2.5.1 期間
 - 2.5.2 評価者

3 2人の係長

- 3.1 営業係長加藤文夫
 - 3.1.1 経歴
 - 3.1.2 業務
 - 3.1.3 評価
 - 3.1.4 動機
 - 3.1.5 活動
 - 3.1.6 反省
- 3.2 商品開発係長中本翔太
 - 3.2.1 経歴
 - 3.2.2 業務
 - 3.2.3 評価
 - 3.2.4 動機
 - 3.2.5 活動
 - 3.2.6 反省

4 マネジメントシステム

- 4.1 目的
- 4.2 システムの設計
- 4.3 社長の説得
- 4.4 発足